

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.40

開催地：八代市太田郷校区

平成19年10月18日(木)、八代市太田郷校区(会場：萩原会館)において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約30名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

市内	23名
市外	2名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・10月10日の国会答弁で国土交通大臣は「川辺川ダムを造りたい」と明言したばかり。造りたいとする根拠となる洪水死者数も土砂災害の死者数であることが分かり、造りたいとする発言の根拠は無い。地元では各地でダム前提でないと言っている。いったいこの報告会は何のためにあるのか。
- ・小委員会に森林水文学者が一人もいなかったことを報告に加えて欲しい。
- ・住民の意思、知事の意思の反映部分が基本方針及びこの報告会のどこにあるのか教えて欲しい。
- ・基本高水が絶対的なものとして説明をされているが、河川局の元課長が、新聞記事で、基本高水は人の想像に基づくもので根拠がない。誰も説明できないだろうと言っていることについて、どのように考えているのか。
- ・基本高水流量が、住民討論集會に出た数字と異なっているが、はっきりと小委員会で検討されての結論なのか。
- ・以前は、萩原地点6,900m³/sが計画高水流量だったが、今度の計画で(横石地点)7,800m³/sになっているが、それはどうやって安全に流すのか。
- ・説明に使われている深掘れの図は、なぜ縦横比が10倍も違うのか。また、スライドで危険だと示した箇所について、なぜ今年まで何の対策もしていないのか。八代の治水への責任を軽んじる行為である。
- ・豊国旅館の流出は、萩原堤防の決壊例としては不適切であり、旧渡町が「球磨川の洪水の状況」として提示されるスライドは、現在は安全になった事例として八代の住民に示すべき例である。
- ・報告会説明で使用される浸水想定範囲は、なぜ水深も地名も一色に塗りつぶされているのか。ほんの何秒か示されるこの図で住民への積極的な防災情報の開示が実現すると考えているのか。「暴れ川 球磨川」という小冊子に千丁・鏡まで5m浸水するという氾濫想定範囲が示されているが、これが国土交通省が住民に知らせたい図ということか。

【球磨川の治水対策について】

- ・H14年5月の第2回討論集會で、当時の川辺川ダムの所長が、1つ3トンもある根固めブロックをS40年代に3万個ぐらい敷き詰めたが、洪水時にほとんど流れてしまったと発言したが、どのように流れ、処理されたか具体的に教えて欲しい。ずっと球磨川に住んでいたがこのような記憶は無い。
- ・萩原堤防の深掘れ対策に、岩石ではなくて泥を投入していた。来年度も入れると思うが、必ず水洗した岩石を入れるよう約束して欲しい。そうしないと、水の少ない時期に濁水が流れ、漁業にとって大変な問題となる。
- ・萩原堤防はいつ破堤してもおかしくない危険な堤防と言われながら、20～25年かかって深掘れ対策を終えた後に強化対策をされると言われている。この程度の対策が採用されている萩原堤防は、本当に緊急な危険性のある堤防なのか。
- ・萩原堤防の厚みが不足していると小委員会の資料にあるが、どれだけ厚み不足なのか具体的に説明して欲しい。
- ・昨年の7月22日の洪水時に約7,100m³/s萩原地点で流れたと報告会で説明しているが、現状で6,900m³/sしか流せないというのはなぜか。S40年に石垣が崩れて、豊国旅館が流れたときは約7,100m³/s流れた。その後、河川改修進んでいるのに、まだ6,900m³/sしか流れないというのは不思議。
- ・萩原堤防を強化堤防にする工事がH13年度に始められ、H17年に完成予定だった。萩原堤防を洪水に対して安

全にするために、堤防の強化工事をダムより優先し、早急に終えて欲しい。

- ・萩原堤防は、宝暦の水害（1755年）以来、250年以上決壊していない。国交省は、川辺川ダム建設の必要性を説くために、水無川の洪水写真など不適切な写真を使用して、八代は危険だと自らの治水実績を否定し、徒に不安をあおっている。また、ダム以外の治水方法は不可能であると、今日まで意図的に対策を怠っており、ダム計画があるがゆえに、私たちの生命・財産が脅かされてきたと言える。フロンティア堤防の完成など八代の住民が安全に暮らせる治水を一刻も早く実現して欲しい。
- ・萩原には昔から「天神はね」と呼ばれる「はね」が7箇所ある。「はね」があるところは掘れるのが当たり前。それを深掘れと私たちの恐怖心を煽るようなことを言っている。実際に立ち会って検証をすべき。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

